

XTOOL | F2

クイックガイド



内容物一覧	01
xTool F2の紹介	02
機器の準備	04
xTool F2 使用	07
その他の作業	09
アクセサリの使用	10
メンテナンス	13

* 原文の説明の翻訳

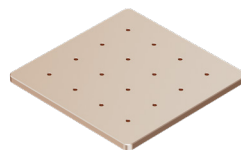
内容物一覧



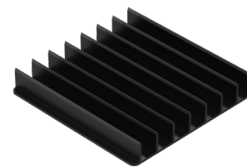
xTool F2



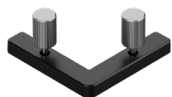
パイプ



底面プレート



スラット パネル



L字型位置決めパーツ



電源アダプタ



電源コード



USBケーブル



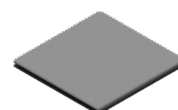
グリース



鍵 (出荷時に装着済み)



ドライバー



不織布 (リントフリーの布)



素材パック



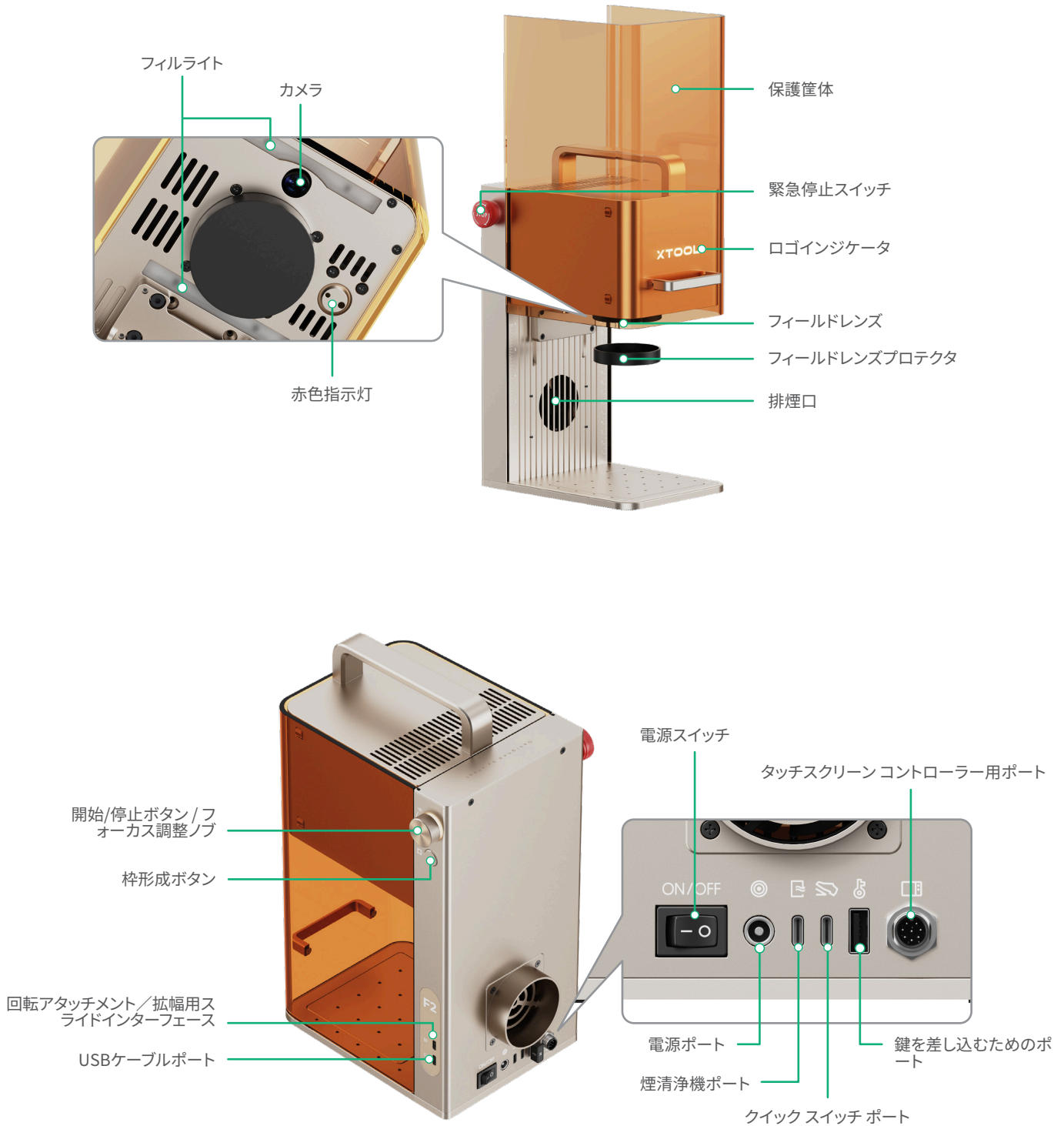
クイックガイド



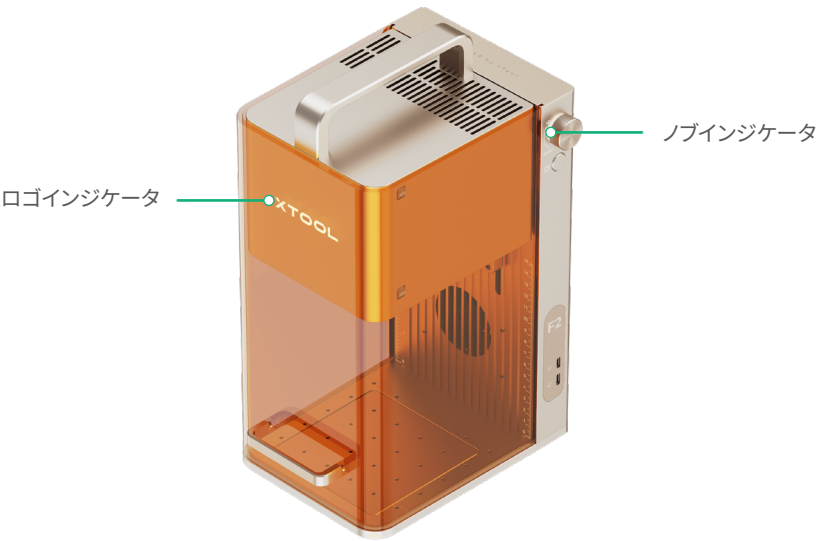
安全上のご注意

xTool F2の紹介

製品の構造



一般的なマシンの状態とインジケータの表示



ロゴインジケータ	ノブインジケータ	機械の状態
常時点灯	● 白で点灯	ソフトウェアに接続されていません
	● 黄色常時点灯	ネットワークの設定中
	● 青色常時点灯	ソフトウェアに接続されています
	● 緑で点灯	タスク完了
	● 紫色常時点灯	ファームウェア更新中
	● 赤色常時点灯	エラーが発生しています
点滅	● 赤色で3回点滅	無効な操作
消灯	● 青色常時点灯	タスク実行中
	○ 白色でゆっくり点滅	10分以内に操作をしないとスリープ状態になります。

仕様

製品名	xTool F2
モデル	MXF-K005-002
接続モード	Wi-Fi、USB、IP
内部操作領域	115 mm × 115 mm
最大加工速度	6,000 mm/s

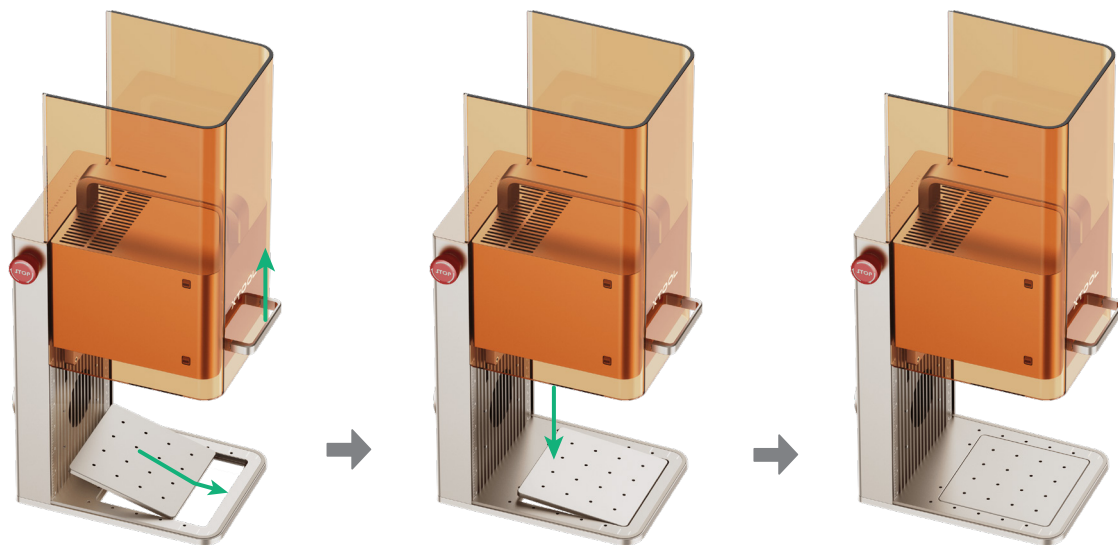
サイズ (長さ × 幅 × 高さ)	175 mm × 237 mm × 334 mm
入力電源	25 V ≒6 A, 150 W
作業用レーザー	15W 青色ダイオードレーザー 5W 赤外線レーザー
作業用レーザー波長	青色レーザー:445 ± 15 nm 赤外線レーザー:1064 ± 5 nm
最大加工高さ	120 mm

機器の準備

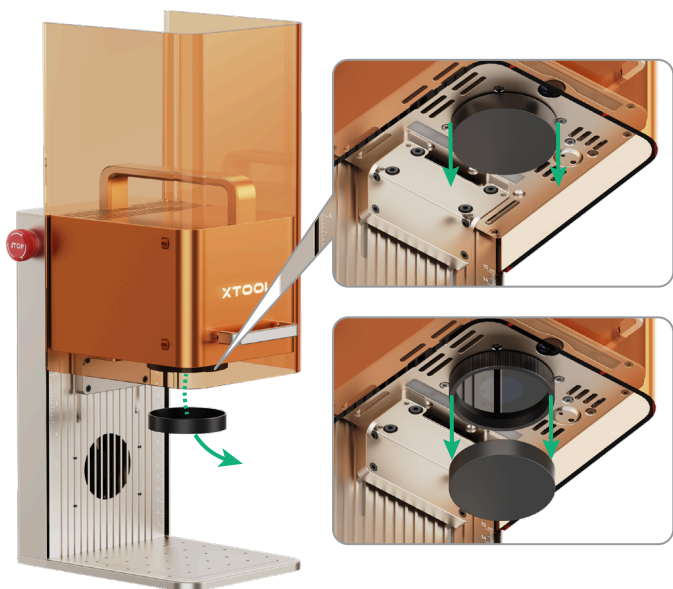
- 1 保護筐体を開き、矢印の方向に従ってベースプレートを取り付けてください。



底面プレート



- 2 フィールド レンズ プロテクターを引き下げて取り外します。



機器を長い期間使用しない場合は、フィールド レンズにほこりがつかないようにするためにプロテクターを再び取り付けることができます。機器を使用する前に毎回プロテクターが外されていることを確認してください。

- 3 緊急停止スイッチが解除されていることを確認します。押し下げられている場合は、回して解除します。



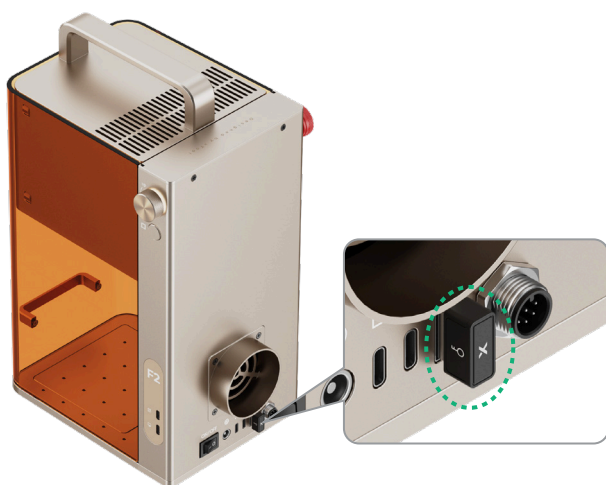
緊急停止スイッチ

緊急事態が発生した場合、緊急停止スイッチを押して、機器の電源をオフにすることができます。



緊急事態に対応した上で、機器をリセットする目的で緊急停止スイッチを回すこともできます。

- 4 鍵が完全に挿入されていることを確認してください。



鍵はアクセスコントロール キーおよびインターロックコネクターとして兼用可能です。

アクセスコントロール キー

鍵を外すと、機器の加工や他の関連機能を無効にすることができます。

インターロック コネクター

詳しい手順は、QRコードを読み取るか、リンクにアクセスしてご確認ください。



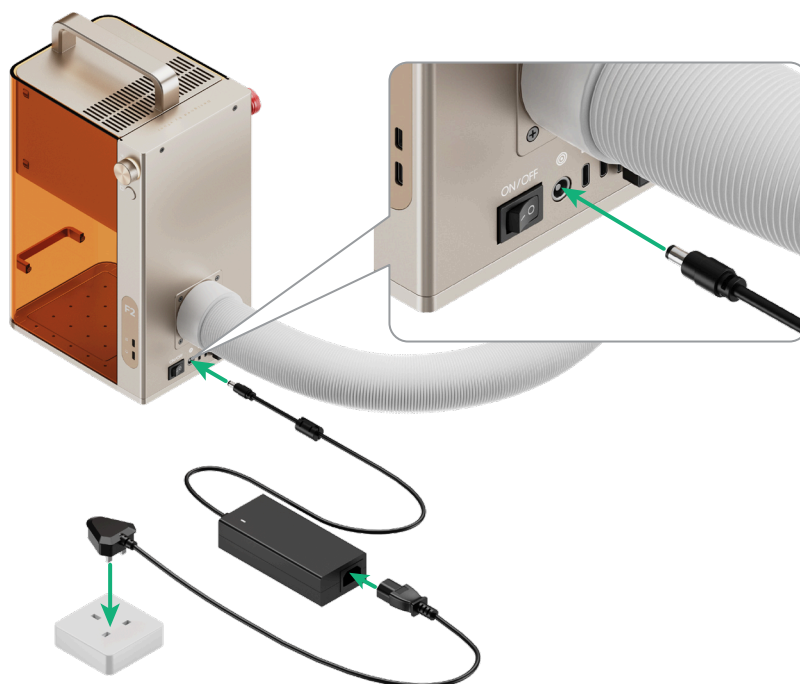
support.xtool.com/article/1367

5 パイプを取り付けます。



デスクトップ煙清浄機が必要な場合、清浄機を購入し、ユーザーマニュアルの説明に従ってxTool F2に取り付けます。

6 電源に接続します。



xTool F2 使用

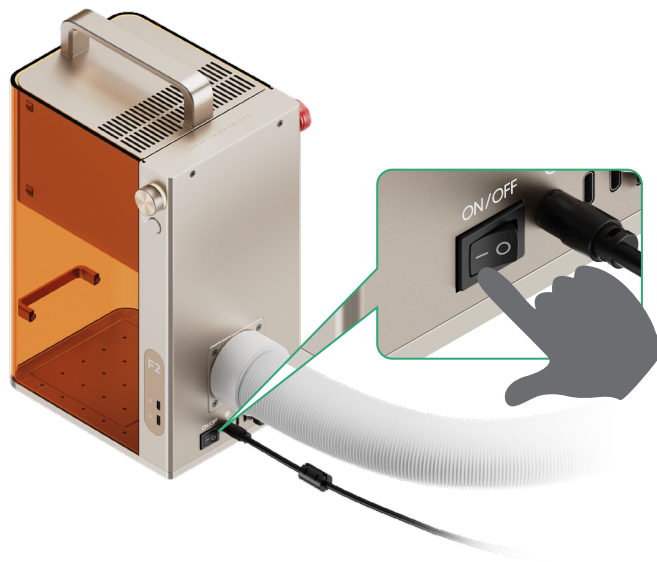
電源オン

電源スイッチを押して、xTool F2の電源を入れます。



緊急停止スイッチを電源スイッチとして使用しないでください。

緊急事態が発生した場合にのみ、緊急停止スイッチを使用してください。機器の電源をオン/オフするために緊急停止スイッチを電源スイッチとして使用すると、機器が損傷するおそれがあります。

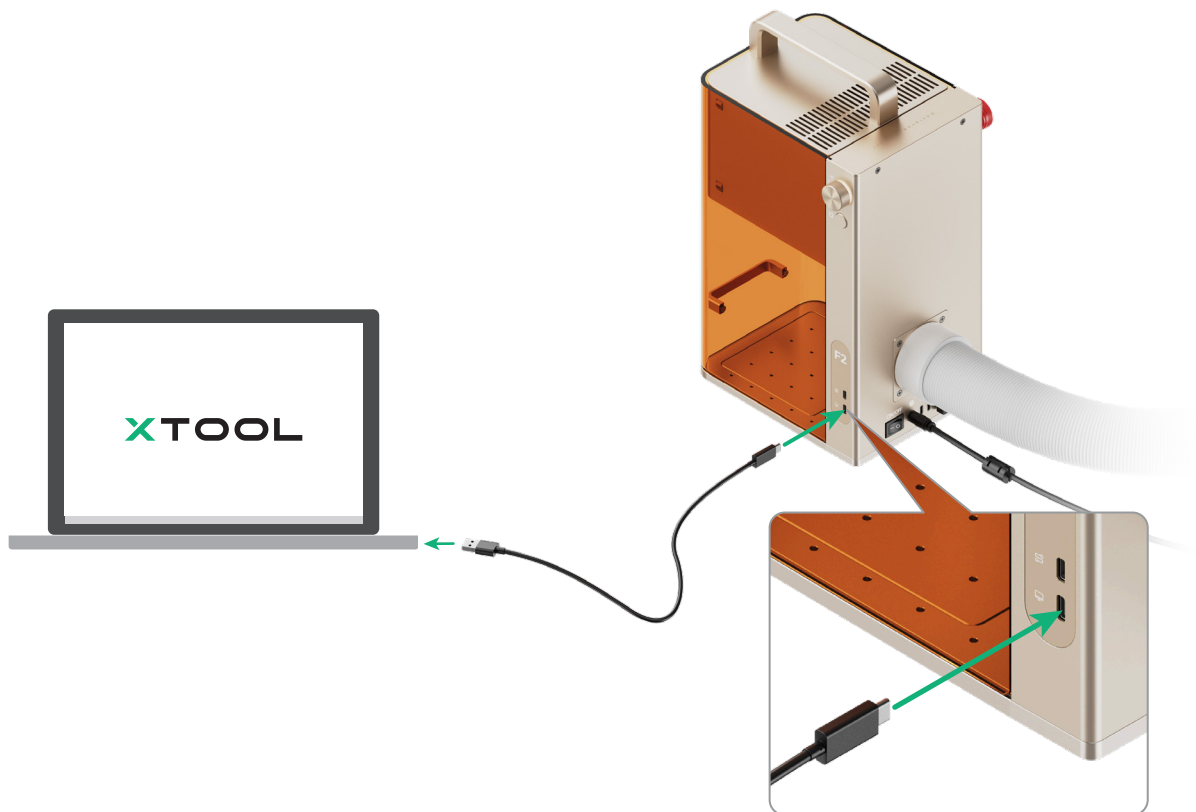


xTool F2を操作するためのソフトウェアの使用方法

(1) s.xtool.com/software にアクセスして、xToolが開発したソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。



(2) USBケーブルを使用して、xTool F2をコンピューターに接続してから、ソフトウェアでxTool F2に接続します。



ソフトウェアを使用してxTool F2を操作し、素材を加工する方法についての詳細は、QRコードをスキャンするかリンクをご覧ください。

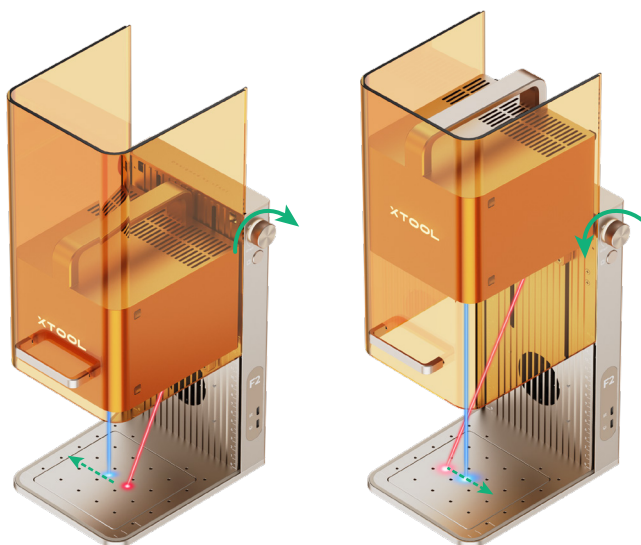


support.xtool.com/product/60

その他の作業

手動焦点合わせの設定

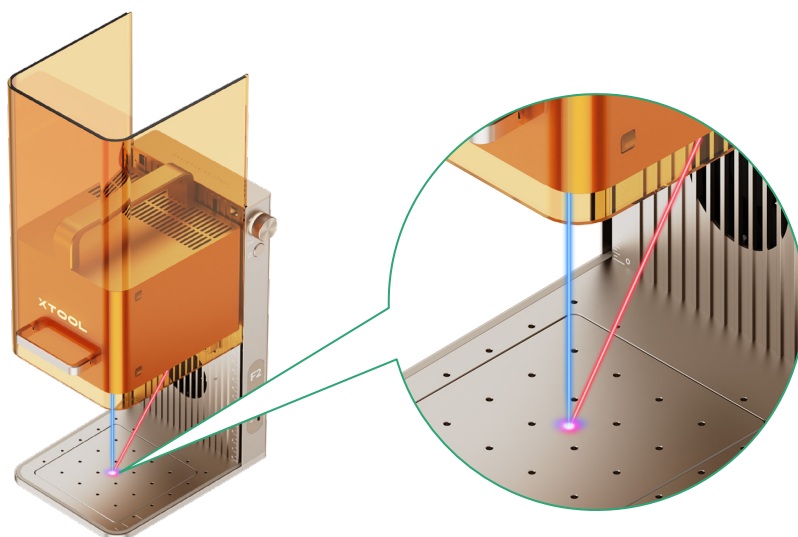
ノブを回し、レーザーヘッドを上下に移動します。赤い光と青い光の照らす点が重なった場合、焦点合わせは成功しています。



ノブを回しても赤色光点と青色光点を重ねられない場合は、support.xtool.com/article/2373を参照するか、QRコードをスキャンしてください。またはカスタマーサポートにお問い合わせください。



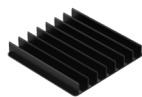
support.xtool.com/article/2373



アクセサリの使用

スラット パネル

材料をレーザーカットする場合は、スラット パネルを使用することをお勧めします。材料加工時の焼け焦げ部分を減らすことができ、ベースプレートを保護することができます。



スラット パネル

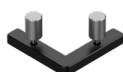


排煙効果を確保するため、スラットパネルの開口部は機械側に向けて設置してください。

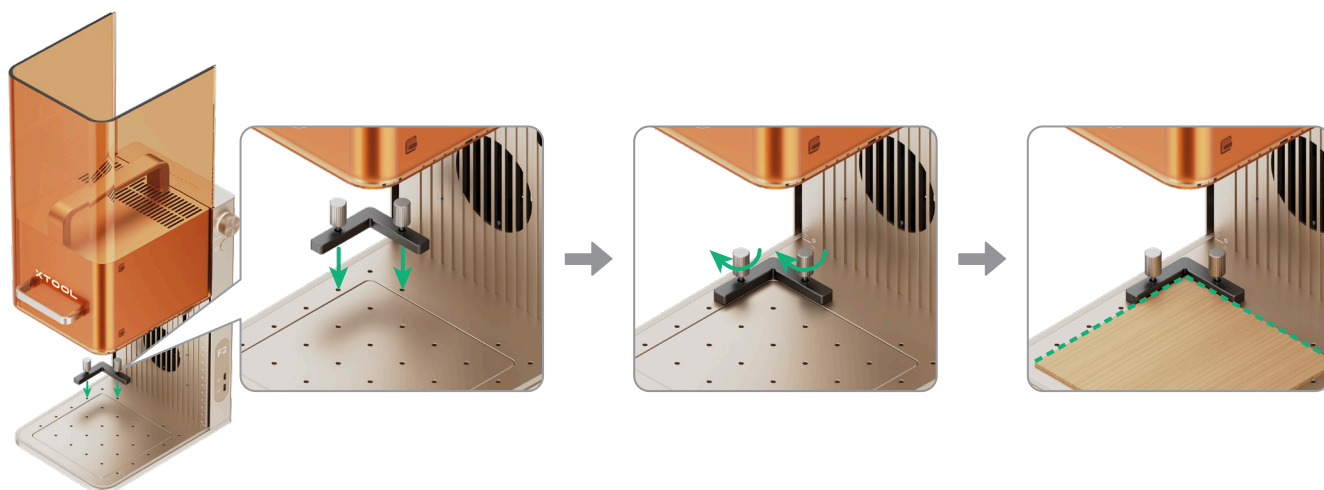


L字型位置決めパーツ

大量加工を行う場合、L字型位置決めパーツを使うと、素材を毎回同じ位置に置くのに役立ちます。



L字型位置決めパーツ



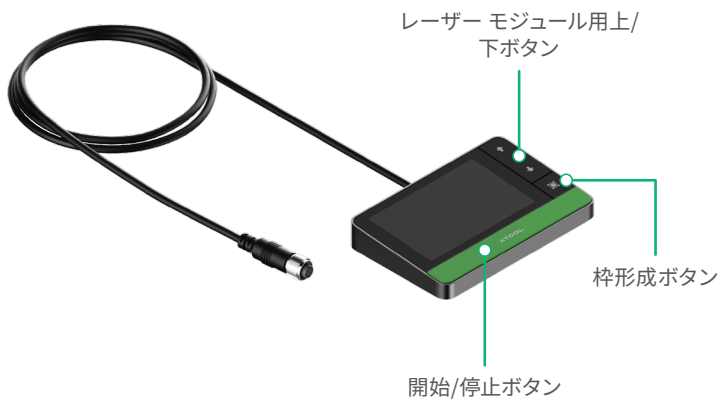
タッチスクリーン コントローラー



タッチスクリーン コントローラー（非同梱）



本製品にはタッチスクリーンコントローラーは付属しておりません。別途ご購入ください。



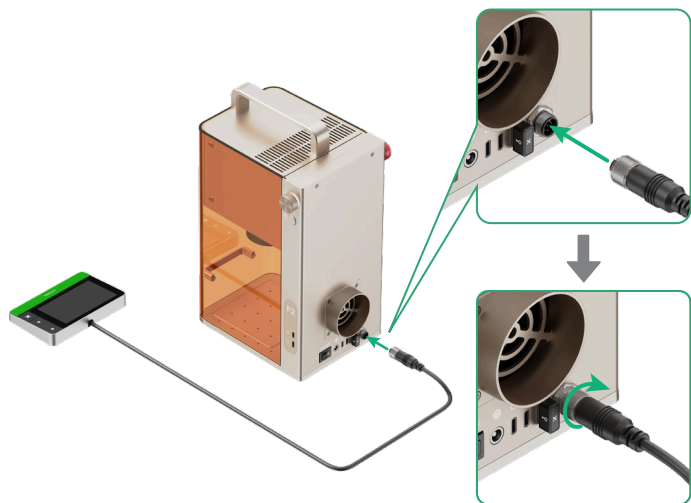
■ **レーザー モジュール用上/下ボタン**: 手動焦点合わせ中にレーザー モジュールを上または下に移動します。

■ **枠形成ボタン**: 一度押してフレーミングを開始または停止します。

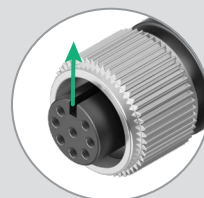
■ **開始/停止ボタン**: 一度押して素材の加工を開始または停止します。連続で2回押すと、前回の加工作業を繰り返します。



配線前に、電源スイッチがOFF状態であることを確認してください。



コネクターを挿入するには、端のノッチが上を向いていることを確認してください。



回転装置

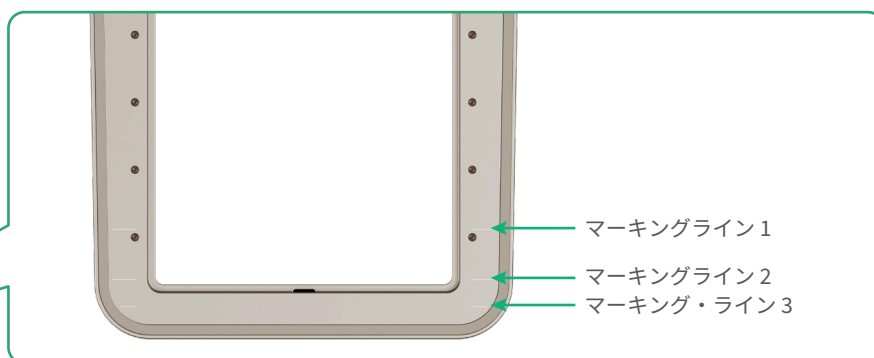
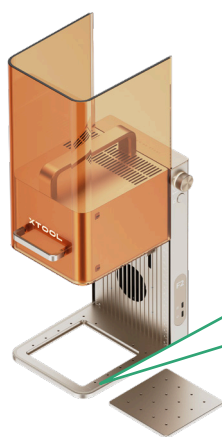


回転装置（非同梱）



ロータリーアタッチメントは別売りです。

xTool F2のベースには3本のマーキングラインがあります。ロータリーアタッチメントの作業モードとレベル設定に応じて、その前面下端を対応するマーキングラインに合わせてください。



回転アタッチメントを使用した xTool F2 の使用方法については、QR コードをスキャンするか、support.xtool.com/product/13 を参照してください。




support.xtool.com/product/13



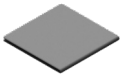
xTool F2 とロータリーアタッチメントを使用する際は、安全に関する指示 に従ってください。レーザー安全管理者 (LSO) の指導の下、安全管理区域を設定し、レーザーリスクに対する十分な個人防護措置を講じてください。

メンテナンス

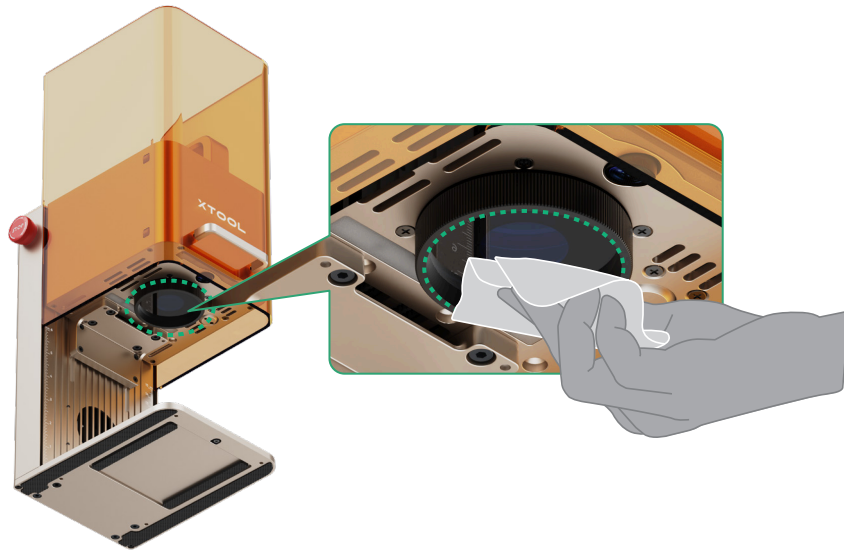
 製品をメンテナンスする前に、電源を切断してください。

フィールドレンズの清掃

レーザーの出力低下が発生し、たとえば、彫刻パターンが狭くなるか素材が予期したとおりに切断できない場合、フィールドレンズが汚れている可能性があります。不織布（リントフリーの布）をアルコールで湿らせ、レンズを清掃します。



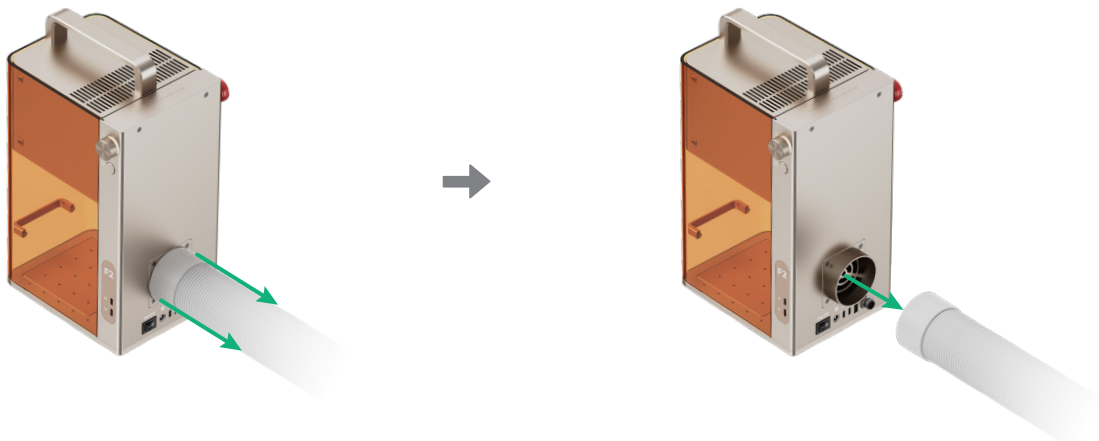
不織布（リントフリーの布）



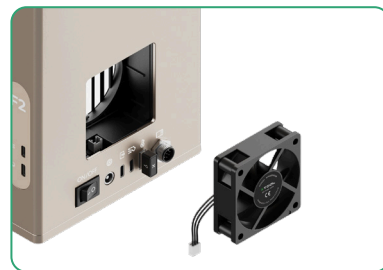
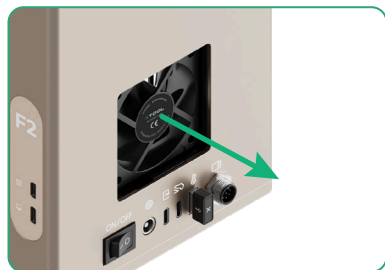
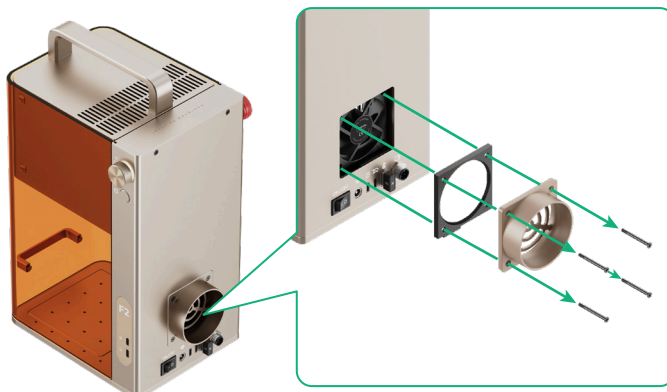
ファンモジュールの清掃

煙が保護筐体の外側にあふれ出す場合、ほこりが付着し、ファンと煙排出口が動作を妨げている可能性があります。ほこりを取り除き、煙を正しく排出できるようにします。

(1) パイプを取り外します。

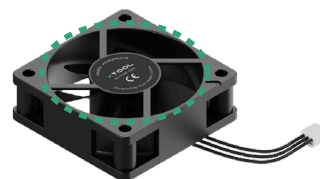
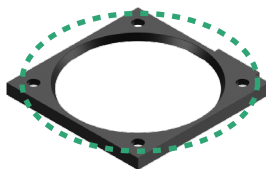
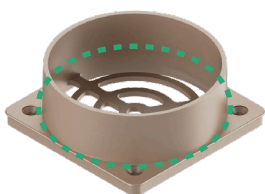


(2) カバーを開けてから、ファンモジュールを取り出します。



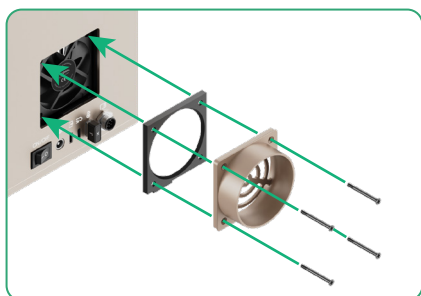
コネクタを取り外します。

(3) ブラシまたは他のツールを使用してファンモジュールの両面を清掃します。

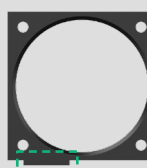


ファンモジュールは水洗い可能ですが、浸漬はしないでください。再取り付け前には完全に乾燥していることを確認してください。

(4) 清掃後、本体に再取り付けしてください。



本体へ取り付けの際は、ファンのロゴ面を外側に向けていることを確認してください。



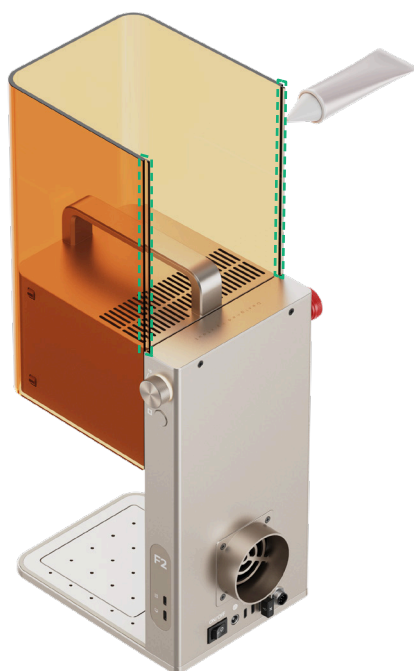
本体へ取り付けの際は、ガスケットの突起部を左下角に合わせて設置してください。

保護筐体を潤滑を施す

保護筐体を上下に滑らかに移動することができない場合、両端の縁にグリースを塗布します。



グリース



ご自身で購入される場合は、白色リチウム基グリースの使用を推奨します。

XTOOL